

平成 2 1 年度お盆期間の輸送実績について

平成 2 1 年 8 月 2 4 日

本年度のお盆期間における貨物列車の運転計画は、高速道路通行料金の E T C 割引期間拡大により発生が見込まれた交通渋滞に対応するため、運転本数を極力確保し、コンテナ列車については運転本数を前年同期比 1 0 % 程度増加させる計画としました。

しかしながら、台風 9 号の接近とそれに伴う記録的な大雨及び 1 1 日（火）早朝に発生した駿河湾を震源とする地震の影響を大きく受け、東海道、山陽線の列車を中心に、多数の貨物列車に運休及び遅延が発生しました。

この結果、コンテナ貨物は、輸送障害に伴う運休の発生により特別積み合せ貨物などが他輸送機関に転移したほか、天候不順の影響で飲料水をはじめとする食料工業品や生野菜・青果物の発送が減少したこともあり、輸送実績としては前年を上回ったものの、当初見込んだ輸送量には至りませんでした。

なお、車扱貨物は、昨年、石油の価格が高騰したことに伴い消費が大幅に減少した反動に加え、高速道路通行料金の E T C 割引期間の拡大によりガソリン需要が旺盛となったこともあり、輸送実績は前年を上回りました。

1 . 運転計画期間

平成 2 1 年 8 月 1 1 日（火）～ 8 月 1 8 日（火）

2 . コンテナ列車

(1) 運転本数	7 7 1 本	(前年比	1 0 6 . 3 %)
(2) 輸送実績	2 6 6 千トン	(前年比	1 0 3 . 8 %)

3 . 車扱列車

(1) 運転本数	9 4 本	(前年比	8 2 . 5 %)
(2) 輸送実績	2 4 0 千トン	(前年比	1 0 8 . 8 %)